

V 祖父母をはじめ、子育てを支援する幅広い年代の方を対象にしたプログラム

V-2 子どもたちにしてあげたいこと

対象：地域の大人
時間：60～90分程度

ねらい	子どもの豊かな成長のために、地域の大人ができることを話し合い、子育て支援に取り組むきっかけとする。		
実施のポイント (評価など)	地域住民のほとんどは、子どもの様子が気になりながらも、実際に子育て支援に取り組む人は少数であることから、できることから始めてみようという地域の大人の意欲の高まりを引き出すことができる。		
事前準備	<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 資料 <input type="checkbox"/> 付せん紙 <input type="checkbox"/> マジック <input type="checkbox"/> 模造紙あるいは四つ切画用紙		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	・アイスブレイクの最後に3～4人のグループができるような活動を行う。	
展開 10分	ワーク1 ・子どもころの遊びを想起する。 ・グループで紹介する。	◎子どもころの遊びを想起することをねらいとする。 ・グループ内で自分が1番好きだった遊びを発表する。	
15分	ワーク2 ・エピソードを読む。 ・解決方法を考える。 ・グループで話し合う。	◎子どもたちの遊びの現状について気付き、大人にできることについて考えることをねらいとする。 ・グループ内で自分の考えを発表し、解決の方法を話し合う。	
20分	ワーク3 ・子育て支援の方法について考え、付せん紙にアイデアを記入する。 ・グループで話し合い、まとめた意見を発表する。	◎地域の大人ができることを話し合うことで、子育て支援に取り組む意識を高めることをねらいとする。 ・ワーク2の解決法などを参考にしながら資料について説明を行い、グループでの話し合いに活用できるようにする。 ・グループの話し合いには、ブレインストーミングで個人の考えを出し合う。 ・模造紙に貼りながら、自分の地域でどんな取り組みができるか意見を出し合い、グループとしての取組をまとめ発表する。 ※グループでの話し合いは、ランキングで時間を短縮することも可能。	資料 付せん紙 模造紙
まとめ 5分	ふりかえり ・感想を記入する。 ・発表し合い、共有する。	・学習についての感想を記入し、グループ内で発表する。 ・時間があれば様々な地域で行われている子育て支援の取組を紹介する。	実践事例